

# 農業

平成25年4月号  
会誌 No. 1571



## 目次

### 巻頭言

東日本大震災被災地での東京農大の取り組み……………大澤 貫寿 3

### 論壇

「美しい日本」を考える……………田中 耕司 4

### 農業技術開発研究会

農村地域問題と「地域サポート人」－普及事業を考える－（Ⅱ）…………… 6

－小田切徳美明治大学教授講演後の質疑・意見交換－

支援の順序と支援の性格

技術普及とコーディネート力

地域サポート人と農業普及の立ち位置

公的普及としての制約

スペシャリスト機能とコーディネート機能

### 現地セミナー

いま、秋田の農業をどう拓くか－歴史に問い、真の強みを引き出す－… 20

大日本農会秋田支会発足にあたって……………染 英昭 20

挨拶……………齋藤 作圓 21

来賓挨拶……………鈴木 誠 23

### 基調講演

日本の水田農業の特質と将来方向……………石原 邦 24

－汎用化水田利用の重要性とその確立に向けて－

20世紀後半の水田農業の「発展過程」

水田農業の改良改革すべき課題

農事功績者座談会

親バカトマト，震災復興への挑戦…………… 36  
私の経営と農業への思い……………助川 正克 37  
現地指導者のコメント……………諸橋 武明 44  
質疑・討論…………… 45

農業農村の現場から

栃木県における農業の6次産業化について……………小林 俊夫 56  
－6次産業化サポートセンターの活動を通して－

世界の農業は今

ASEAN 諸国の経済発展と食料・農業事情……………井上荘太郎 64

表彰

平成24年度大日本農会賞の受賞者…………… 70  
付：大日本農会と東京農業大学の関係

第52回全国青年農業者会議プロジェクト発表・農業青年の意見発表等受賞者… 74

農政情報…………… 76

大日本農会だより…………… 77

ミニ情報「農林水産物の主な輸出相手国・地域（2012）」…………… 69

表紙写真説明

春のわさび田（長野県安曇野市穂高<sup>あずみの ほたか</sup>）

長野県安曇野市は、平成17年10月に、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の5町村が合併して誕生した。長野県のほぼ中央部に位置している。北は大町市、松川村、池田町、生坂村、筑北村、南は松本市に隣接し、西部は雄大な北アルプス連峰がそびえ立つ中部山岳国立公園の山岳地帯であり、燕岳、大天井岳、常念岳などの海拔3,000m級の象徴的な山々がある。北アルプスを源とする穂高川（上流部、中房川）、烏川、梓川、高瀬川などが犀川に合流する東部は、「安曇野」と呼ばれる海拔500から700mの概ね平坦な複合扇状地となっている。

日本一の生産量を誇る安曇野市の沢わさびは、豊富な湧水を利用したわさび田で栽培されている。明治の初めから大正時代の中ごろまで、旧穂高町一帯はナシの栽培地だった。湧き水によるナシの病害が多く、水はけを良くするために作った水路で、ワサビ栽培が始まったと言われている。（写真提供：（社）地域環境資源センター）